

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999		
目的	グローバル社会において、必要とされるプレゼンテーションスキルとコミュニケーション能力を備え、様々な業界で使える英語を身に付けた人材の育成を目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
文化・教養	文化教養専門課程		海外ビジネス科		平成22年文部科学大臣告示第31号		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1815	300	1855	80	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
80人		104人		5人	11人		16人
学期制度	■前期: 4月1日～8月31日 ■後期: 9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価		
長期休み	■夏 季: 8月9日～9月11日 ■冬 季: 12月25日～1月11日 ■学年末: 3月10日～4月3日			卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書等)提出			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空、旅行、ホテル、一般企業 等 ■就職率 <sup>※1</sup> : 92.9 % ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 89.7 % ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する平成28年4月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	英語検定準1級/2級/準2級、TOEIC、 Microsoft Office Specialist Word/Excel/Access サービス接遇検定2級 全国経理教育協会主催簿記検定2級等		
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成27年5月1日 在学者 89名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 86名 (平成28年3月 卒業者をを含む)		■中退率 3.4 %				
	■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等						
	■中退防止のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等						
ホームページ	URL: <a href="http://www.asojuku.ac.jp/aftc/">http://www.asojuku.ac.jp/aftc/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員との意見交換により、企業視点を軸としてグローバル社会において必要とされる知識・技能の修得を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
長 加奈子	福岡大学 人文学科 準教授
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長-人材開発担当
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
佐取 美紀	麻生外語観光&製菓専門学校 主任
和田 菜穂	麻生外語観光&製菓専門学校 海外ビジネス科専任教員
中西 伸二	麻生外語観光&製菓専門学校 海外ビジネス科専任教員
中尾 美奈	麻生外語観光&製菓専門学校 海外ビジネス科専任教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年6月25日 15:30~17:30

平成27年度 第2回 平成27年10月22日 15:30~17:30

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30~17:30

平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30~17:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、企業において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
観光業界概論	ホテル、トラベル、航空の各業界の現状ならびに各業界にどのような業務があるのかについて学ぶ	株式会社トップ・スタッフ
マーケティング	身近な分野の問題や改善点を捉えながら、外国人に接するエアラインやホテルの取り組みを参考に、マーケティング手法やツールを認識しながらワークショップを通して感覚を磨く	株式会社ブライトウェイ
Project-based learning	ホテルや航空会社における実務例をベースに、現在のトレンドを踏まえてグループワークでプロジェクトを立ち上げ、内容のプレゼンテーションを行う	株式会社ブライトウェイ

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

グローバル人材として求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングや各種研修会に参加し情報収集することにより、社会の動向を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科1年生 保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生
久永 妙美	平成21年度 卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
加藤 博志	九州B.M.C.会長
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長
長 加奈子	福岡大学 准教授
芳野 香織	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 国際旅客サービス課マネージャー
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 ラインハンドリング3課マネージャー
平野 孝文	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
江口 克司	株式会社ニューオータニ九州 ブライダル担当部長
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
宮川 正和	パティスリーポッシュ オーナーシェフ
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
船橋 修	ロイヤルホールディング株式会社経営企画部ロイヤルグループ採用・教育担当課長
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:[http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka\\_aftc.pdf](http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_aftc.pdf)

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 海外ビジネス学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			MOS(Excel/Word)演習A	「Microsoft Office Specialist Excel」、「Microsoft Office Specialist Word」の取得を目指す	1前	90	6	△	○		○			○	
○			MOS(Excel/Word)演習B	「Microsoft Office Specialist Excel」、「Microsoft Office Specialist Word」の取得を目指す。	1後	90	6	△	○		○			○	
○			Speaking Skills IA	レベル別クラスで日常生活に必要な英会話力を養成する	1前	60	4	△	○		○		○	○	
○			Speaking Skills IB	レベル別クラスで日常生活に必要な英会話力を養成する。前期の学習を踏まえ、英会話力の向上を目指す	1後	60	4	△	○		○		○	○	
○			英語検定対策IA	レベル別クラスにて「日本英語検定協会主催実用英語技能検定」の準2級、2級、準1級の合格、またTOEICの高スコア取得のための対策授業を行う	1前	90	6	△	○		○		○		
○			英語検定対策IB	レベル別クラスにて「日本英語検定協会主催実用英語技能検定」の準2級、2級、準1級の合格、またTOEICの高スコア取得のための対策授業を行う	1後	90	6	△	○		○		○		
○			総合英語IA	レベルごとに基礎英文法の習得、英語で「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の基礎力を養成する	1前	60	4	○			○		○		
○			総合英語IB	前期の学習内容をもとに、さらに高等な英文法の習得、読解、聴解、英会話の実践練習を行い、総合的な英語力を養成する	1後	60	4	○			○		○		
○			一般教養IA	就職対策として一般教養の基礎知識を学ぶ	1前	30	2	○			○		○		
○			一般教養IB	一般教養IAに続き、就職対策として一般教養の基礎知識を学ぶ	1後	30	2	○			○		○		
○			サービス接遇A	「サービス接遇3級」または「サービス接遇検定2級」の合格を目指すとともに、接客マナーについての知識を修得する	1前	30	2	○			○			○	

○		サービス接客 B	「サービス接客3級」または「サービス接客 検定2級」の合格を目指すとともに、接客マ ナーについての知識を修得する	1 後	30	2	○		○		○		
	○	A	観光業界概論	ホテル、トラベル、航空の各業界の現状な らびに各業界にどのような業務があるのか について学ぶ	1 前	30	2	△	○		○	○	○
	○	B	商業簿記A	「全国経理教育協会主催簿記能力検定」の2 級合格へ向けての基礎段階として、簿記に 関する基礎を学ぶ	1 前	30	2	△	○		○		○
	○	A	英語レシテー ション	レベル別に英語の課題文を暗記し、人前で 発表するプロセスの中で、語彙、フレーズ の習得、表現力の向上を目指す	1 後	30	2	△	○		○		○
	○	A	観光業界実務	ホテル、トラベル、航空の各業界の業務に ついて実践を交え、より具体的に学ぶ	1 後	30	2	△	○		○		○
	○	B	商業簿記B	商業簿記Aで学習したことを元に、「全国経 理教育協会主催簿記能力検定」の2級合格を 目指す	1 後	60	4	△	○		○		○
○			GCB I	様々な事例について話し合うことにより、 「感謝と思いやり」を学ぶ	1 前	15	1	△	○		○		○
○			社会教養 I A	就職に対する基礎知識、履歴書作成、面接 練習など、就職内定へ向けての実践授業	1 前	15	1	△	○		○		○
○			社会教養 I B	社会教養 I Aに続き、就職に対する基礎知 識、履歴書作成、面接練習など、就職内定 へ向けての実践授業	1 後	30	2	△	○		○		○
○			就職対策	進路選択、就職活動、仕事観の形成講習を 目的に講演、講習を通し学習する	1 後	15	1	○	△		○		○
	○	A	韓国語 I A	ハングル文字を学ぶことから始め、韓国語 の基礎を学び、簡単な日常会話レベルの韓 国語習得を目指す	1 前	30	2	△	○		○		○
	○	B	中国語 I A	音調の学習から始め、中国語の基礎を学 び、簡単な日常会話レベルの中国語習得を 目指す	1 前	30	2	△	○		○		○
	○	A	韓国語 I B	前期の学習を発展させ、より多くの日常会 話フレーズを学び、より自然な韓国語会話 の習得を目指す	1 後	30	2	△	○		○		○
	○	B	中国語 I B	前期の学習を発展させ、より多くの日常会 話フレーズを学び、より自然な中国語会話 の習得を目指す	1 後	30	2	△	○		○		○
	○		韓国英語研修	ホテル、レストラン、病院、銀行など様々 な場面での英会話を習得するとともに、ア メリカ人講師、韓国人学生との交流を通 し、実践的な英語力を習得する	1 後	40	1	△	○		○		○

○		パソコン総合演習	1年次、2年次前期で学んだExcel、Wordの知識を使って、より実践的、実際的な応用演習を総合的に行う	2後	30	2	△	○	○	○	○		
○		MOS(Access)演習	「Microsoft Office Specialist Access」取得を目指す	2前	90	6	△	○	○	○			
○		Speaking Skills II A	レベル別クラスでよりスムーズな日常英会話の運用ならびに多岐にわたる場面での英会話力の養成を目指す	2前	60	4	△	○	○	○	○		
○		Speaking Skills II B	レベル別クラスでよりスムーズな日常英会話の運用ならびに多岐にわたる場面での英会話力の養成を目指す	2後	60	4	△	○	○	○	○		
○		英語検定対策 II A	レベル別クラスにて「日本英語検定協会主催実用英語技能検定」の準2級、2級、準1級の合格、またTOEICの高スコア取得のための対策授業を行う	2前	90	6	△	○	○	○			
○		英語検定対策 II B	レベル別クラスにて「日本英語検定協会主催実用英語技能検定」の準2級、2級、準1級の合格、またTOEICの高スコア取得のための対策授業を行う	2後	60	4	△	○	○	○			
○		総合英語 II A	英語の「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の4技能を総合的に学ぶ	2前	30	2	△	○	○	○			
○		総合英語 II B	総合英語 II Aよりさらに高いレベルの教材で英語の4技能の習得を目指す	2後	30	2	△	○	○	○			
○	A	Speech	2年間の英語学習の集大成として、各自の問題意識、関心のあるテーマについてリサーチを行った内容を英語でスピーチとして発表する	2前	60	4	△	○	○	○			
○	B	マーケティング	企業の「売る」ための仕組みや企業のさまざまなマーケティング戦略について学ぶ	2前	30	2	△	○	○		○	○	
○	B	貿易英語	貿易の流れを学びながら、貿易業務で使用される語彙、フレーズを習得する	2前	30	2	△	○	○	○			
○		ニュース英語	ニュースに使われる語彙やフレーズを学び、時事英語や日常会話よりも早い英語に慣れ、より広い範囲の英語への適応力の養成を目指す	2後	30	2	△	○	○	○			
○		卒業研究	2年間の学習の集大成としてビジネス分野から関心のあるテーマを各自で設定し、論文を作成し、研究発表を行う	2後	60	4	△	○	○	○			
○		ビジネス実務	社会人として必要なビジネス上のマナーを学ぶ	2前	30	2	△	○	○		○		

○		一般教養ⅡA	就職試験対策の一環として、筆記試験の力を身につける	2 前	30	2	○		○		○		
○		一般教養ⅡB	社会人として必要な基礎知識や考え方などを学ぶ	2 後	15	1	○		○		○		
○		接遇演習	社会人として必要なビジネス上のマナーを実践を通して学ぶ	2 後	30	2	△	○		○		○	
○		GCBⅡ	著名人や偉人の人生や教訓を通して、「志」を学ぶ	2 前	15	1	△	○		○		○	
○		社会教養ⅡA	就職活動の準備から社会人としての基礎知識習得を目指す	2 前	45	3	△	○		○		○	
○		社会教養ⅡB	社会人として必要な基礎知識や考え方などを学ぶ	2 後	30	2	△	○		○		○	
○		文化教養・スポーツ演習	社会人として必要な教養を体験を通して学び、また基礎体力をつけることを目的とする	2 後	30	2	△	○		○		○	
○	A	韓国語Ⅱ	韓国語ⅠA,Bで習得した語彙や文法知識をもとに、会話練習を積むことでさらに運用力を高める	2 前	30	2	△	○		○		○	
○	B	中国語Ⅱ	中国語ⅠA,Bで習得した語彙や文法知識をもとに、会話練習を積むことでさらに運用力を高める	2 前	30	2	△	○		○		○	
		○	企業インターンシップ	1 後	80	2				○	○	○	○
		○	Call演習	2 前	60	4				○	○	○	
○		Project-based learning	ホテルや航空会社における実務例をベースに、現在のトレンドを踏まえてグループワークでプロジェクトを立ち上げ、内容のプレゼンテーションを行う	2 後	15	1				○	○	○	○
合計					42科目		1815単位時間(				121	単位)	

\*Aか\*Bのどちらかを選択する

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。